

■開催趣旨

次代を担う子どもたちが、いつ、どこで起こるかわからない災害に向けて、自分自身が暮らす地域では、どんな備えがしてあるか、見て歩き、これからの暮らし方を考える防災まちあるきの実施

■期日

2016年6月18日（土）9：00～12：10（3時間10分）

■会場

伊丹市北河原住民センター

■参加者

39名（子ども19名、子ども会育成者11名、町内会役員2名、青年リーダー7名）

■概要

災害への備えの大切さを伝える防災活動ハンドブック「子ども会でまなぼうさい活動BOOK」をもとに、防災・減災の視点でまちを見て歩き、日ごろからの暮らし方を考えた。

■実施スケジュール

時間	内容
9：00	あいさつ 伊丹市子ども会連絡協議会会長 山村峯彦
9：10	オリエンテーション
9：20	お話し「1. 17 その時私は、地域は、子ども会は」
10：00	まちの再発見！防災まちあるき ・アイスブレイキング ・まちを歩いて探検する時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをまとめる時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをわかちあう時間 ・体験から感じたことをわかちあう時間
12：10	あいさつ 伊丹市子ども会連絡協議会副会長

■プログラム運営チーム

講師（語り部） 伊丹市子ども会連絡協議会会長 山村峯彦  
スタッフ・記録 子ども会防災リーダー 7名

■会場の様子



語り部



アイスブレイキング



まちあるき



まとめ

■こどもたちによる防災の心得

- ・ いざというときみんなで協力できるよう、普段から近所の人と仲良くする
- ・ 食べ物や水をおいておく
- ・ 自分でできることは自分でする
- ・ 部屋の中で揺れたら頭を隠して机の下にかくれる
- ・ 近所の人と出会ったらあいさつする
- ・ 他人の迷惑になるようなことはしない